

授業科目名: バドミントン	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 1単位	担当教員名: 升佑二郎、林直樹、渡辺英次 担当形態: クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・体育実技		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) ネットを挟んでシャトルを打ち合い、バドミントン特有の駆け引きやスピード感を楽しむ。 (2) ルールを正しく理解し、試合を自分達で進められるようになる。 (3) 運動学的あるいは力学的な観点からスポーツを見る経験をする。 (4) 起こり得る危険を回避し、安全を管理していく方法を理解する。 (5) バドミントンを通して主体的で対話的な深い学びを習得する。			
授業の概要			
バドミントンは「レクリエーションスポーツ」や「生涯スポーツ」として非常に親しみやすいスポーツの一つであり、「レクリエーション」として誰もが一度は触れたことのあるスポーツだと考えられる。しかし、競技規則に則った「競技としてのバドミントン」を経験した人は希有といえる。そこで本授業はバドミントンを題材としてルールや歴史を正しく学び、「生涯スポーツ」の中での位置付けを一段昇華させること、そして楽しく積極的に運動を行う姿勢を養うことを目標とする。			
授業計画			
第1回:バドミントンの歴史を誕生から現在の競技までの発展について、追体験する【独り遊びから、アソシエーション・ルールのバドミントンへ】 第2回:基本ストロークを体験し学習する【ドライブ、クリアー、ヘアピン、ドロップ、スマッシュ、レシーブ、プッシュ】 第3回:オーバーヘッド・ストロークの標準化に必要な「行動」を考える【視機能のトレーニング、空間と運動の予測、「衝突(コンタクト)」の学習】 第4回:ストローク・プロダクションに有効なグリップや構え、打球方法を考える【運動構造の理解と実践】 第5回:目的達成の為にストローク・プロダクションを考え、ストローク・ムーブする【何が目的かを考え、目的達成の為にどこに打球し、どこにどのように動くかを考える】 第6回:ルールの学習(1)【サービスと得点の関係を学習し、理解する】 第7回:ルールの学習(2)【フォルトに関して学習し、反則と設定されている意味を理解する】 第8回:シングルス・ゲーム【トラベリング技術を学習し、実践する】 第9回:ダブルス・ゲーム(1)【チームとしてディフェンスとアタックのバリエーションと陣形を理解して実践する】 第10回:ダブルス・ゲーム(2)【段階的指導を学習し、実践する】 第11回:ミックスダブルス・ゲーム【男女混合種目を体験してそれぞれの役割を理解し、実践する】 第12回:トリプルス【3対3のスピーディーな展開を体感し、レクリエーションとしての可能性を図る】 第13回:団体戦【個人種目における団体戦の意義と共生観念に関して学習する】 第14回:安全管理、危機回避義務指導【安全管理に関して再考する(スポーツ現場における怪我予見)】 第15回:まとめ【バドミントンの楽しさと課題についてまとめる】 実技試験			
スクーリングでの学修			
授業のテーマを理解した上で行動できる基礎を築く。 ・シャトルの飛び方と「打つ」運動の現象理解 ・ルールの把握とゲーム進行の理解 ・危険回避、安全管理に関する知識獲得 ・指導理論と具体的な指導方法			
テキスト			
升佑二郎『必ずうまくなるバドミントン 基本と練習法』コスミック出版 2023年 978-4774743042			
参考書・参考資料等			
学生に対する評価			
スクーリング評価(50%)、科目修得試験(50%)			